

呼吁参加第二次 思考朝鲜人
中国人被强制押送和强制劳动的
全国交流集会

日本近代史是侵略亚洲各国之历史。由日中战争时期开始的“强制押送”朝鲜人，中国人就是该侵略史的一个侧面。

以去年五月，韩国的卢泰愚大总统来日作为一个契机，强制押送朝鲜人的问题被轰动一时，当时日本政府也保证调查被押送者名册，并在同年八月份发表了该调查结果。但是，其调查是如何杜撰的，且不充分，不仅从发表名册上的人数过份少上可以显明，而且民间研究小组在政府发表后也接二连三地发现了新的人数。

在此种情况下，我们于去年八月在名古屋首次召开了，思考朝鲜人、中国人被强制押送、强制劳动的全国交流集会。目的是为了能让现在在全国各地展开调查活动的个人及团体互相交流经验，互相提供知识。通过了结识众多的同事，我们积累了情报。学到了各种活动的手法。并且集中了动员政府、自治体、企业公开资料情报的运动力量。

集会后，我们共同调查视察了岐阜县久々利、瑞浪的地下工厂的遗址，了解了其规模之大同时，对于当地研究组至今所作出的努力工作，我们铭感在心。

为了继承这种首次全国交流集会的成果并且进一步发展它，我们将于今年七月在西宫市（兵库县）召开第二次集会。这次集会将成为全国各地新朋友汇报近来活动、去年参加的团体汇集该一年来的成果，互相学习的好场所。最后，作为实地工作，到时还将访问位于西宫市甲阳园存有“朝鲜国独立”文字的地下工厂遗址。

为了在调查和研究的领域里，进一步发现强制押送、强制劳动的新事实，追究日本侵略亚洲历史的一面，我们呼吁全国的朋友们来参加第二次交流集会。

제2회
조선인, 중국인
강제연행·강제노동을
생각하는
전국교류집회

참가호소문

일본근대사는 아시아 여러나라에 대한 침략의 역사였다. 중일전쟁부터 시작된 조선인, 중국인 강제연행은 그 침략사의 한 단면이라고 말할 수 있다. 작년 5월 한국 노태우 대통령의 일본 방문을 계기로 조선인 강제연행문제가 큰 주목을 받아 일본 정부는 피연행자에 대한 명부 조사를 약속하고 8월에 조사 결과를 발표하였다.

그러나 그 조사가 얼마나 불충분한 것이었는가 하는 것은 발표된 명부 수가 너무나도 적었다는 것을 보도라도 알 수 있으며 정부 발표 후에도 각지에서 일반 연구단체가 새로운 명부를 연이어 발견하고 있는 것을 보도라도 명백하다.

그러한 상황 속에서 작년 8월 우리들은 나고야에서 처음으로 조선인, 중국인 강제노동, 강제연행을 생각하는 전국교류 집회를 가졌다.

이 집회는 전국 각지에서 조사 연구를 꾸준히 하고 있는 개인 및 단체가 경험과 정보를 서로 제공하고 돕기 위하여 모였던 것이다.

많은 친구들과 만나는 과정에서 정보를 축적하고 여러 가지 활동방법을 배울 수가 있었다. 또 정부, 자치체, 기업에 대해 자료를 공개시키기 위한 운동역량도 집결 할 수가 있었다.

또한 집회 마지막날에는 기후현 구구리, 미즈나미의 지하 공장유적을 공동으로 조사하고 그 막대한 규모에 놀랐으며, 현지그룹의 꾸준한 활동에 깊은 감명을 받았다.

처음으로 가져진 이와같은 전국교류집회의 성과를 계승 발전시키기 위하여 올해 7월에 효고현 니시노미야시에서 제2회 전국교류집회를 가지기로 하였다.

전국각지에서 새롭게 참가하는 연구자 및 집단은 활동내용과 연구결과를 발표하고 작년 참가자들은 그후 새롭게 이룩한 1년동안의 성과를 보고하여 서로배우며 자극을 받는 장으로 하려고 한다.

또한 필드·위·크로씨 『조선국독립』이란 글이 남아 있는 니시노미야시, 고-요-엔의 지하공장을 찾아가고자 한다.

조사와 연구의 영역에서, 강제연행, 강제노동의 진실을 파헤치고 일본의 아시아침략의 역사의 일면을 구명하기 위하여 제2회 전국교류집회에 많은 참가와 성원을 호소한다.

第2回

朝鮮人・中国人 強制連行・強制労働を考える 全国交流集会

1991. 7. 27~28 兵庫県・西宮市



「朝鮮國獨立」の文字の残る西宮市甲陽園の地下工場跡

主催 第2回朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える
全国交流集会実行委員会

よびかけ

日本の近代史は、アジア諸国への侵略の歴史でした。日中戦争時より始まった朝鮮人・中国人「強制連行」は、その侵略史の一断面です。

昨年5月の韓国ノ・テウ大統領の来日をひとつの契機として、朝鮮人強制連行問題がクローズアップされ、日本政府も被連行者の名簿調査を約束し、8月にその調査結果を発表しました。しかし、その調査がいかにずさんで不十分なものであったかは、発表名簿の人数があまりにも少なかったことや、政府発表後も民間研究グループが次々と新しい発見をしていることなどからも明らかです。

そのようななかで昨年8月、私たちは、名古屋において初めて「朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える全国交流集会」を開きました。全国各地で調査活動を行っている個人・グループが、経験を交流し、知識を提供しあうために集まったのです。多くの仲間と出会うなかで、情報を蓄積し、さまざまな活動の手法を学ぶことができました。また、政府・自治体・企業を対して、資料を公開させるための運動力量を結集させることができたと考えています。

集会後は、岐阜県久々利、瑞浪の地下工場跡を共同で調査し、その規模の大きさを知るとともに、地元の研究グループのこれまでの働きに感銘を受けました。

こうした最初の全国交流集会の成果を引き継ぎ、さらに発展させるために、今年7月、私たちは西宮市（兵庫県）で第2回交流集会を開きます。全国の新しい仲間が日ごろの活動を報告し、昨年参加したグループはこの1年間の成果を持ち寄って、ともに学び合う場としたいと思います。さらに、フィールド・ワークとして、西宮市甲陽園にある「朝鮮國獨立」の文字が残されている地下工場跡を訪ねます。

調査と研究の領域で、強制連行・強制労働の真実を掘り起こし、日本のアジア侵略の歴史の一面を究明していくため、第2回交流集会に全国の仲間の参加を呼びかけます。

要 綱

<7月27日(土)>

全体集会 (13:00~16:00)

(於/西宮勤労会館 Tel0798-34-1662)

- ① あいさつ 実行委員会
- ② 3分間スピーチⅠ
- ③ 記念講演 歴史家 朴 慶 植氏
- ③ 3分間スピーチⅡ

分科会Ⅰ (16:00~17:30) (於/西宮勤労会館)

食事(弁当) (17:30~18:00)

分科会Ⅱ (18:00~20:00) (於/西宮勤労会館)

※ 神戸学生青年センターへ移動
(JR西宮駅から六甲道駅下車 北東へ徒歩10分)

交流会 (21:00~)

(於/神戸学生青年センター Tel 078-851-2760)

<7月28日(日)>

フィールドワーク(西宮市甲陽園の地下工場跡)

① 9:00 ②10:30 集合は、――

甲陽園小学校(阪急電車甲陽園駅南東徒歩3分)

(①は神戸学生青年センターの宿泊者のみ)

「アリランのうた(朴壽南製作)」特別上映会

(10:00~11:50 一回のみ)

(於/甲陽園小学校)

- 【注意】①神戸学生青年センターでの宿泊参加者は、フィールドワーク→映画となります。それ以外の地域の参加者は、申し訳ありませんが、フィールドワークか映画かのいずれかをお選び下さい。
- ②「アリランのうた」の兵庫での上映は8月初旬に予定されています。

全体集会 (12:00~13:00) (於/甲陽園小学校)

<参加費> 2000円(資料代とも)
宿泊代は別途(朝食付き3000円)

<申込み方法>

この案内についている郵便振替(神戸9-40152 第2回強制連行交流集会)で7月10日までにお申し込み下さい。一人一枚の郵便振替でお願いします。領収書は郵送せずに集会当日、参加証とともにお渡しします。

<実行委員会連絡先>

〒657 神戸市灘区山田町3-1-1
(財)神戸学生青年センター内 飛田(ひだ)
Tel 078-851-2760 FAX 078-821-5878

分科会の内容(Ⅰ、Ⅱ共通)

- ① 入門講座――朝鮮人・中国人「強制連行」問題とは何か、地域での調査活動をどのように進めるか
- ② 「花岡蜂起事件」にアジア民衆との連帯をさぐる――日本人のみた「花岡」、朝鮮人のみた「花岡」
- ③ 土木建設工事と朝鮮人・中国人労働者――強制連行期および強制連行期以前の鉄道・ダム・溜池・トンネル・道路・河川改修工事など
- ④ 炭鉱・鉱山・軍需工場と強制連行(サハリン在住朝鮮人問題も含む)
- ⑤ 地下軍事施設建設工事と強制連行
- ⑥ 軍人・軍属・慰安婦(朝鮮人・台湾人戦犯問題も含む)
- ⑦ 教育実践――地域の在日朝鮮人・中国人の歴史を学校教育・社会教育でどのように取り上げるか――
- ⑧ ビデオ(映像記録)――自作のビデオ作品を持ちより、批評しあう
- ⑨ 地域史の見直しトンネル跡などの保存・犠牲者慰霊碑の建立、記念館の建設、郷土史の書きかえ等
- ⑩ 戦争動員・強制連行・強制労働と戦後補償

募集しまーす

中津川朝鮮人虐殺など調査実行委員会・上越(新潟県)
旧中島飛行機太田地下工場を保存する会(トンネルの会)(群馬県)
(株)大塚物産附属朝鮮研究所(福島県)
千葉県朝鮮人強制連行真相調査団(千葉県)
日本の戦争責任を肩代わりさせられた朝鮮人B C級戦犯を
支える会(東京都)
八王子の地下壕問題を考える会(東京都)
ビデオプレス(東京都)
松代大本営を考える会(東京都)
中国人強制連行を考える会(東京都)
指紋捺捺を考える八王子の会(東京都)
在日朝鮮人運動史研究会・関東部会(東京都)
篠ノ井旭高校郷土班(長野県)
松代大本営の保存をすすめる会(長野県)
ミラノ書店(静岡県)
半田空襲と戦争を記録する会(愛知県)
くノモア南京>名古屋の会(愛知県)
豊橋日中友好協会(愛知県)
あるすの会(愛知県)
愛知県下の朝鮮人強制連行歴史調査班(愛知県)
ビタムの会(愛知県)
三重県木本で虐殺された朝鮮人労働者(李基允・裴相度)の追悼碑
を建立する会(三重県)
在日韓国・朝鮮人の人権を考える会(三重県)
三重在日朝鮮人史研究会(三重県)
奈良県での朝鮮人強制連行等に関わる資料を発掘する会(奈良県)
ウトロを守る会(京都府)
マンガン鉱山史を記録する会(京都府)
大阪府朝鮮人強制連行真相調査団(大阪府)
育丘文化ホール(大阪府)
国際在日韓国・朝鮮人研究会(大阪府)
外宣法問題と人権を考える会(大阪府)
アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ心に刻む会(大阪府)
ウリ文化研究所(大阪)(大阪府)
アジア・フレンズ(大阪府)
高槻「タチソ」戦跡保存の会(大阪府)
高槻むくげの会(大阪府)
花岡蜂起!!問題にこだわる会(大阪府)
西宮地方労働組合評議会(兵庫県)
兵庫在日朝鮮人教育を考える会(兵庫県)
在日朝鮮人運動史研究会・関西部会(兵庫県)
兵庫県・在日朝鮮人の人権を守る会(兵庫県)
兵庫朝鮮関係研究会(兵庫県)
民族差別と闘う兵庫連絡協議会(兵庫県)
戦争の記録を残す西宮市民の会(兵庫県)
姫路朝鮮問題研究会(兵庫県)
むくげの会(兵庫県)
神戸学生青年センター(兵庫県)
亀島山地下工場を語りつぐ会(岡山県)
広島強制連行を調査する会(広島県)
6・30花岡の会(広島県)
広島キリスト教社会館(広島県)
長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会(山口県)
四国学院労働組合(香川県)
強制連行の足跡を若者とたどる旅(福岡県)
指紋捺捺制度を考える熊本会の会(熊本県)
徳島県朝鮮人強制連行真相調査団(徳島県)

(以上55団体)

<個人>

金相基(東京都) 澤田純三(富山県) 青木康嘉(岡山県)



- ◆この振替用紙を切り取って、郵便局にお持ち下さい。
- ◆ひとり一枚をお願いします。
- ◆7月10日までに右の申し込み用紙に必要事項をお書きの上、申し込んで下さい。
- ◆送金手数料は、実行委員会が負担します。
- ◆領収書は郵送せずに、当日、参加証とともにお渡しします。また、会場等の変更がないかぎり、改めて案内をお送りしませんのでご了承願います。念のために郵便振替の受領証をお持ち下さい。

この欄は、加入者あての通信にお使いください。

申込書

氏名(フリガナ) _____

住所 〒 _____

電話 () - _____ 所属 _____

参加希望分科会(○印を)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

<送金内訳> 参加費 2,000円 ()

宿泊費 3,000円 () ※ ○印を!

合計 円

この払込通知票は、機械で使いますので、下部の欄を汚さないよう特に御注意ください。また、本票を折り曲げたりしないでください。(郵 政 省)

① 自作のビデオを!!
強制連行・強制労働の歴史を掘り起こし広く知らせるためにチャレンジして下さい。第8分科会で発表します。10分以内の作品を!

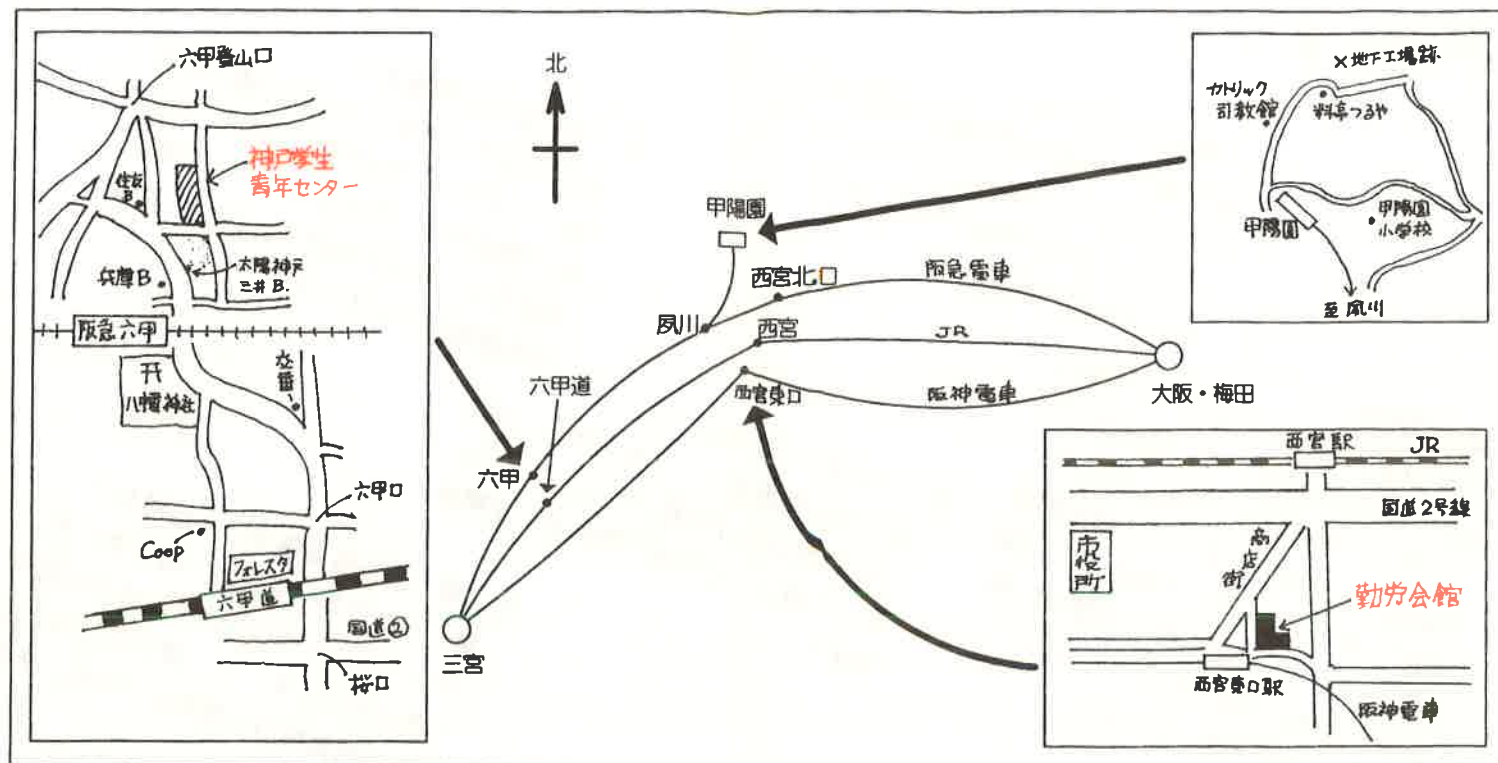
② 賛同団体を!!
全国の仲間を求めています。5月27日現在で左の55団体です。是非加わって下さい。賛同金 5,000円。団体名、代表者名、連絡先を書いて、郵便振替<神戸 9-40152 第2回強制連行交流集会>で。当日の資料集に各団体の紹介をします。(団体紹介のためのアンケートは別途発送します。)

④ 3分間スピーチを!!
27日の全体集会で、各地の団体、個人の取り組みを3分間で話して下さい。同じく題目、発表者(団体名)を事務局まで。

③ 分科会での発表を!!
全国各地でのさまざまな取り組みを発表して下さい。20分程度。題目、発表者(団体名)、発表希望分科会(第2希望まで)を事務局まで。B5、2枚の発表要旨をお送り下さい。

べ切は、いずれも、
7月1日 です!!!

⑤ 第3回集会開催地の立候補を!!
第1回は昨年、名古屋で開きました。今年、1991年(第2回)を兵庫県西宮市で開きます。そして、第3回全国交流集会の開催地の立候補をお待ちします。



ANNOUNCEMENT

The Second Conference on Korean and Chinese Forced Laborers

The modern history of Japan is a history of invasion against the nations of Asia. One aspect of this history is the story of Koreans and Chinese forcibly brought to Japan to work in mines, factories and at military bases.

In August 1990, the First Conference on Korean and Chinese Forced Laborers was convened in Nagoya City. Many groups conducting research on this topic gathered from all over Japan to report on their findings and exchange information. The conference proved to be a valuable way to make friends with a similar interest in this issue for all concerned.

This summer we will hold a similar conference at Nishinomiya City in Hyogo Prefecture. This conference will provide the participants with the opportunity to report on their research over the preceding year.

On the second day of the meeting, we will make an inspection tour of the underground factory site in Koyoen, Nishinomiya City, in which the wall graffiti "Independence for Korea" can be viewed.

In order to make significant progress in our understanding of the history of Korean and Chinese forced laborers, we hope that as many people as possible will attend the conference. We look forward to seeing you in Nishinomiya in July.

DATE: July 27-28, 1991
PLACE: Nishinomiya City, Hyogo Prefecture
SPONSOR: The Executive Committee for the
Second Conference on Korean and
Chinese Forced Laborers

Please make inquiries to:
Mr. HIDA Yuichi
c/o Kobe Student Youth Center
TEL 078-851-2760

通常払込料金 加入者負担 払込通知票

口座番号	神戸 9 4 0 1 5 2										金額										
加入者名	第2回強制連行交流集会																				
郵便番号											払込み	持 殊									
払込人住所氏名											備考										
											受付局目附印										

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この払込通知表は、機械で使しますので、下部の欄を汚さないよう特に御注意ください。また、本票を折り曲げたりしないでください。(郵 政 省)

通常払込料金 加入者負担 払込票

口座番号	神戸 9 4 0 1 5 2										金額										
加入者名	第2回強制連行交流集会																				
郵便番号											払込人住所氏名										
											備考										
											受付局目附印										

第1回 朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える 全国交流集会報告集

※申込みは、第2回交流集会実行委員会へ。(送料210円)
(90年12月発行、B5、60頁、500円)